

2022年度環境活動レポート

発行日2024年6月24日

活動期間2022年1月1日～2022年12月31日



株式会社 高橋合金



快適で豊かな未来のために。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に貢献します。

目次

- 1.EMSの適用範囲
- 2.事業活動の概要とフロー
- 3.環境方針と登録証
- 4.CSR推進体制図
- 5.環境目標と実績
- 6.活動計画と実績評価
- 7.環境法令と順守評価
- 8.マネジメントレビューの記録



1.EMS（環境マネジメントシステム）の適用範囲

会社名

株式会社高橋合金

事業所（サイト）

本社工場

茨城県守谷市百合丘1丁目2418-12

並木工場

茨城県守谷市百合丘1丁目2388-1

事業内容

使用済みはんだの精錬並びにはんだに関わる産業廃棄物の収集運搬及び処分

働く人々

経営層、全従業員（派遣社員、パート含む）



2.事業活動の概要とフロー

1.代表者及び環境管理責任者

代表者名 高橋 孝造

環境管理責任者 五十嵐 裕貴

連絡先 0 2 9 7 - 4 8 - 4 3 4 4

2.事業規模

2022年度 売上高 684百万円

従業員 27人

床面積 2,875m²

敷地面積 4,125m²

3.会社概要

創業 昭和48年7月

法人設立 昭和63年3月

資本金 1,000万円

ISO14001認定取得 2021年8月7日

4.営業目的

I.はんだの精錬及び販売

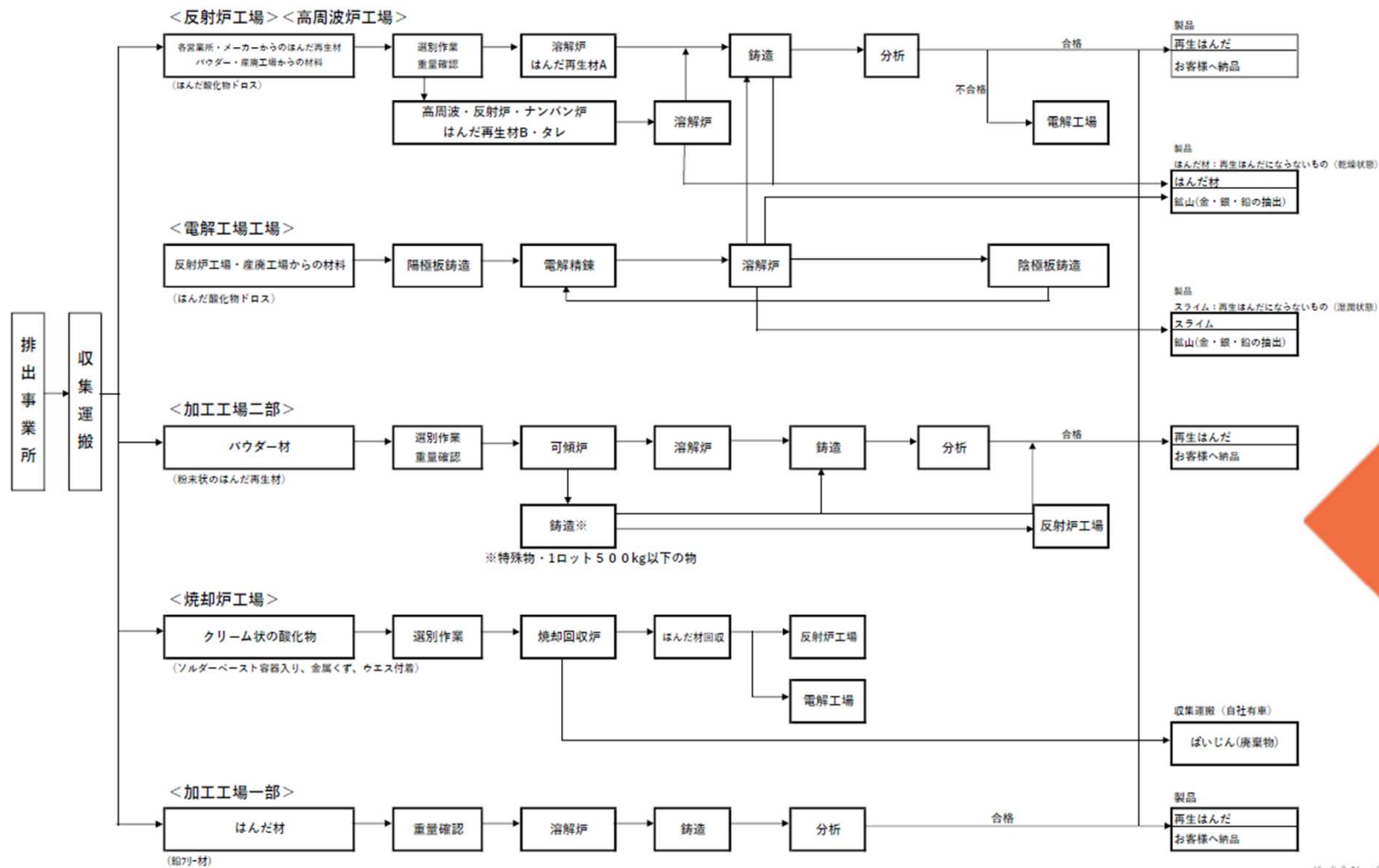
II.産業廃棄物処理業

III.産業廃棄物の収集、運搬業

IV.前各号に附帯する一切の業務



2.事業活動の概要とフロー



株式会社 高橋合金



3.環境方針と登録証

環境方針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重要な使命であることを認識します。
私たちは、この使命のもとに循環型経済社会の形成に寄与すべく、自然と事業活動との
調和を図り、子々孫々に豊かな地球を残すことに全力を尽くします。

【基本方針】

1. 使用済みはんだの精錬等によるリサイクルに努める。
2. 事業活動における課題と機会に取組みまた、利害関係者のニーズ・期待に応えてまいります。
3. 環境汚染を予防し、環境影響の緩和と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めてまいります。
4. 環境関連法規制を順守すると共に、必要に応じて定める自主管理基準の達成をめざします。また、地域との環境に関する協定等の約束事項を順守します。
5. 環境教育により全従業員の環境保全への自覚を促し意識を高め、全員参加の環境保全活動に努める。
6. 地域社会とのコミュニケーションを図り、人と自然にやさしい町づくりに協力していきます。
7. 環境方針は、自社ホームページに掲載し、利害関係者が入手可能な状態にします。

2021年 1月 1日
株式会社 高橋合金
社長 高橋 孝造



登録証 写

株式会社高橋合金

茨城県守谷市百合ヶ丘 1 丁目 2418 番地 12

貴組織の環境マネジメントシステムは、
当社による審査の結果、下記登録範囲において
JIS Q 14001:2015/ISO 14001:2015の要求事項に
適合していることを確認し、登録したことを証します。

登録範囲：使用済みはんだの精錬、並びにはんだに関わる産業廃
棄物の収集運搬及び処分

登録番号：E0259

初回登録日：2021年 8月 7日

登録日：2021年 8月 7日

有効期限：2024年 8月 6日

登録証発行日：2021年 8月 7日

発行番号：1

備考：—



AUDIX Registrars 株式会社
東京都中野区新井一丁目6番2号

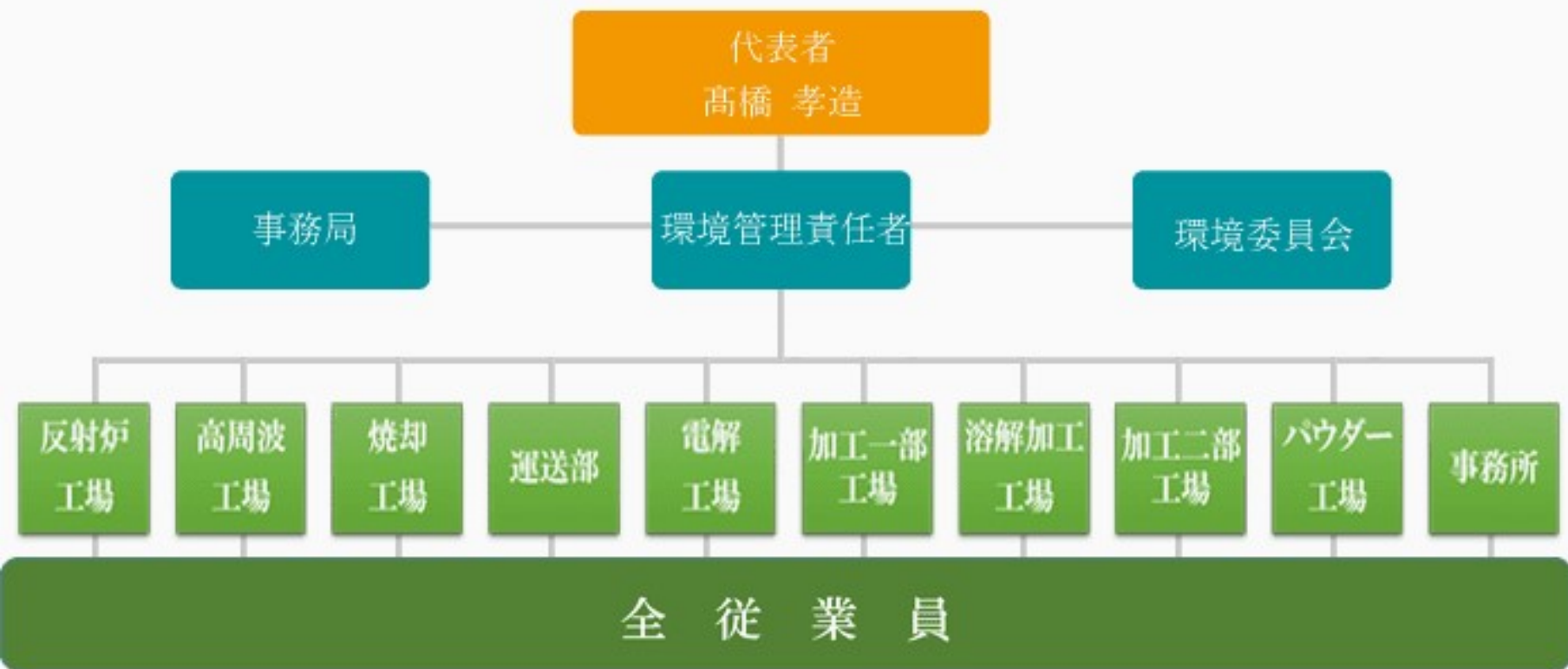
代表取締役社長 齋藤 喜孝
齋藤 喜孝

本証には登録付属書がありますので併せてご覧ください。



4 .CSR推進体制図

CSR推進体制図



5.環境目標と実績

全社環境目標中期計画（第Ⅱ期）

NO	項 目			目 標 値					
	目 標	基準年度	単 位	2021年度 (21年1月～12月)		2022年度 (22年1月～12月)		2023年度 (23年1月～12月)	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1	電気を使用した精錬量の向上 (本社工場／生産量原単位)	参考値（年間） 2020年度 生産量 2,091,804 k g / 使用 量573,449 k w h	KWh 3.64 k g / 1 k w h	5 % 向上 3.82 k g	達成率77% 2.79 k g	2.80 k g / 1 k w h	達成率93% 2.59 k w h	2.80 k g	
2	電気使用した精錬量の向上 (並木工場／生産量原単位)	参考値（年間） 2020年度 生産量 1,538,290 k g / 使用 量378,891 k w h	KWh 4.05 k g / 1 k w h	5 % 向上 4.25 k g	達成率 139%5.92 k g	5.4 k g / 1 k w h	達成率 112%6.03 k g	5.4 k g	
3	軽油使用量の削減 (走行距離単位)	参考値（年間） 2020年度 走行距離 123.968km/使用量 34.669L	L 3.58 k m / 1 L	5 % 削減 3.76 k m	達成率 104%3.91 k m	5 % 削減 3.76 k m	達成率 101%3.82 k m	5 % 削減 3.76 k m	
4	LPGを使用した精錬量の向上 (生産量原単位)	参考値（年間） 2020年度 生産量 3,630,094 k g / 使用 量166,034 k g	k g 21.86 k g / 1 k g	5 % 向上 22.95 k g	達成率 100% 22.85 k g	5 % 向上 22.95 k g	達成率 101% 23.26 k g	5 % 向上 22.95 k g	
5	重油を使用した精錬量の向上 (生産量原単位)	参考値（年間） 2020年度 生産量 97,399 k g / 使用量 99,180L	L 0.98 k g / 1 L	5 % 向上 1.03 k g	達成率 104%1.23 k g	5 % 向上 1.03 k g	達成率 118%1.16 k g	5 % 向上 1.03 k g	
6	精錬量に対する二酸化炭素排 出量（生産量原単位）	参考値（年間） 2020年度生産量 3,630,094 k g / 排出 量804,890 k g -Co2	kg-CO2 4.51 k g / 1 kg-Co2	5 % 削減 4.73 k g	達成率74% 3.49 k g	3.5 k g / 1 kg-Co2	達成率 102%3.59 k g	3.5 k g / 1 kg-Co2	

著しい環境の変化や工場の移設などが生じた場合は、環境委員がデータを集計し速やかに目標を再設定する。

目標の名目を削減から精錬量の向上に変更した2022年9月30日

1月31日環境委員にて決定した



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 電気を使用した精錬量の向上（本社工場 /生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (KWh/kg)	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
単月生産量実績 (kg)	103,838	134,597	157,593	145,593	104,104	122,803	116,142	107,662	153,768	118,033	136,301	120,590
累計生産量実績 (kg)	103,838	238,436	396,029	541,622	645,726	768,529	884,671	992,333	1,146,101	1,264,134	1,400,434	1,521,025
単月電気使用量 (KWh)	43,400	45,554	54,931	49,418	43,315	45,989	52,813	51,406	55,452	44,902	52,187	47,827
累計電気使用量 (KWh)	43,400	88,954	143,885	193,303	236,618	282,607	335,420	386,826	442,278	487,180	539,367	587,194
累計生産量原単位 (KWh/kg)	2.39	2.68	2.75	2.80	2.73	2.72	2.64	2.57	2.59	2.59	2.60	2.59
累計達成率 (%)	85	96	98	100	97	97	94	92	93	93	93	93

2. 目標達成手段

手段	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
工場の照明の小さな消灯	→											
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コンプレッサの定期的なエア漏れチェック			▼チェック			▼チェック			▼チェック			▼チェック
			▲			▲			▲			▲
署名	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林

3. 評価及び実施記録

月 日	任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	生産量に比例し達成率も上昇してきているのでこれを継続、向上できるよう努めていきます。
第2四半期 実績と評価	生産量が下がり気味になり、尚且つ毎月生産量にバラつきが目立つので安定した生産計画を立てる取り組みをしていきます。
第3四半期 実績と評価	実験や高周波、高温処理などの依頼増加があり達成率が上がっていない。そのような材料を精錬していない時に取り組めることを探し実行していきます。
第4四半期 実績と評価	設備不良があり点検等に日数がかかってしまった事もあり生産量が下がってしまった。以後メンテナンス等をこまめに行い作業に支障が出ないようにとりくんでいく



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 電気を使用した精錬量の向上（並木工場 /生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (KWh/kg)	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40
単月生産量実績 (kg)	196,084	208,587	241,036	211,211	193,364	220,167	204,842	201,646	234,251	201,298	206,308	194,830
累計生産量実績 (kg)	196,084	404,671	645,707	856,918	1,050,282	1,270,449	1,475,291	1,676,937	1,911,188	2,112,485	2,318,793	2,513,623
単月電気使用量 (KWh)	30,824	34,856	32,599	35,725	30,770	33,703	38,998	40,983	39,584	37,034	34,974	26,973
累計電気使用量 (KWh)	30,824	65,680	98,279	134,004	164,774	198,477	237,475	278,458	318,042	355,076	390,050	417,023
累計生産量原単位 (KWh/kg)	6.36	6.16	6.57	6.39	6.37	6.40	6.21	6.02	6.01	5.95	5.94	6.03
累計達成率 (%)	118	114	122	118	118	119	115	112	111	110	110	112

2. 目標達成手段

手段	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
工場の照明のこまめな消灯	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コンプレッサの定期的なエア漏れチェック	計画		▼チェック			▼チェック			▼チェック			▼チェック
	実績		▲			▲			▲			▲
	計画											
	実績											
署名	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	達成はできていますが、これから気温が高くなり電気使用量も増えますので節電を呼びかけていきます。
第2四半期 実績と評価	平均的な数値になっておりますが、電気使用量は増えてきております。継続して節電を呼びかけていきます。
第3四半期 実績と評価	達成率が今期最低となりました。猛暑日が続いた事が原因かと思います。こまめな節電を心がけて、達成率向上を目指していきます。
第4四半期 実績と評価	夏と冬に電気使用量が増加傾向にある為、達成率が低下します。今後とも節電意識を高めていきます。



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 軽油使用量の削減（走行距離単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (km/L)	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76
単月走行距離実績 (km)	9,418	11,676	9,900	13,203	7,974	11,012	9,989	12,330	10,418	13,436	10,061	12,481
累計走行距離実績 (km)	9,418	21,094	30,994	44,197	52,171	63,183	73,172	85,502	95,920	109,356	119,417	131,898
単月給油実績量 (L)	2,615	3,364	2,520	3,151	2,097	3,178	2,702	3,084	2,659	3,375	2,506	3,277
累計給油実績量 (L)	2,615	5,979	8,499	11,650	13,746	16,924	19,626	22,710	25,369	28,744	31,250	34,527
累計実績値 (km/L)	3.60	3.53	3.65	3.79	3.80	3.73	3.73	3.76	3.78	3.80	3.82	3.82
累計達成率 (%)	96	94	97	101	101	99	99	100	101	101	102	102

2. 目標達成手段

手段	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エコドライブの更なる徹底	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
アイドリングストップの促進	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
署名	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	目標値に到達していないので、よりアイドリングストップの徹底をしていきます。
第2四半期 実績と評価	目標値に達していないので、強制的にアイドリングストップの徹底をしていきます。
第3四半期 実績と評価	トータルでは目標値に達していますが、まだまだアイドリングストップの徹底をしていきます。
第4四半期 実績と評価	何とか目標値に達しましたが、第1四半期の実績が悪かったので、まだまだアイドリングストップと急の付く運転をしないよう安全運転でいきます。



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 LPGを使用した精錬量の向上（生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/kg)	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95	22.95
単月生産量実績 (kg)	299,922	343,185	398,629	356,804	297,468	342,970	320,984	309,308	388,019	319,331	342,609	315,420
累計生産量実績 (kg)	299,922	643,107	1,041,736	1,398,540	1,696,009	2,038,978	2,359,962	2,669,270	3,057,289	3,376,619	3,719,228	4,034,648
単月LPG使用量 (kg)	14,043	15,447	15,175	13,927	12,465	13,547	14,249	13,653	18,698	13,487	14,489	14,247
累計LPG使用量 (kg)	14,043	29,490	44,665	58,592	71,057	84,604	98,853	112,506	131,204	144,691	159,180	173,427
累計実績値 (kg/kg)	21.36	21.81	23.32	23.87	23.87	24.10	23.87	23.73	23.30	23.34	23.36	23.26
累計達成率 (%)	93	95	102	104	104	105	104	103	102	102	102	101

2. 目標達成手段

手段	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
効率的な良い処理計画	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	計画											
	実績											
	計画											
	実績											
署名	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取り組みの実績
第1四半期 実績と評価	達成率を見ても順調に進んでいるので、このまま効率よく削減できるように工夫していきます。
第2四半期 実績と評価	このまま達成率を継続していき、改善できるところがあれば見直しを図ります。
第3四半期 実績と評価	順調に達成率を継続していますので、ほかに改善できることは無いか再度確認していきます。
第4四半期 実績と評価	改善できるところがあるか再度確認し作業を進めていきます。



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 重油を使用した精錬量の向上（生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値(L/kg)	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03
単月生産量実績 (kg)	4,777	4,274	11,716	10,637	9,277	5,808	7,873	9,422	2,505	510	3,546	7,186
累計生産量実績 (kg)	4,777	9,051	20,768	31,405	40,682	46,490	54,363	63,785	66,290	66,800	70,346	77,532
単月重油使用量 (L)	3,250	1,890	7,850	7,240	6,620	4,120	4,850	9,570	4,250	2,560	8,270	6,540
累計重油使用量 (L)	3,250	5,140	12,990	20,230	26,850	30,970	35,820	45,390	49,640	52,200	60,470	67,010
累計実績値 (L/kg)	1.47	1.76	1.60	1.55	1.52	1.50	1.52	1.41	1.34	1.28	1.16	1.16
累計達成率 (%)	143	171	155	151	147	146	147	136	130	124	113	112

2. 目標達成手段

手段		21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
効率の良い処理計画	計画	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表	▽処理計画 発表
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	計画												
	実績												
署名		中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	目標を達成できているので、このまま継続していきます。
第2四半期 実績と評価	目標を達成できているので、このまま継続していきます。
第3四半期 実績と評価	目標を達成できているので、このまま継続していきます。
第4四半期 実績と評価	10月から達成率が下がっていますが（設備トラブル、空容器の焼却）目標は達成できているので継続していきます。



6.活動計画と実績評価

2022年度 目標管理実施計画 二酸化炭素排出量の削減（生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg - CO2/kg)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
単月生産量実績 (kg)	296,872	341,964	392,671	356,804	297,468	342,970	320,984	309,308	388,019	319,331	342,609	315,420
累計生産量実績 (kg)	296,872	638,836	1,031,507	1,388,311	1,685,780	2,028,749	2,349,733	2,659,041	3,047,060	3,366,390	3,708,999	4,024,419
単月二酸化炭素排出量 (kg - CO2)	83,413	87,373	102,450	96,706	85,145	86,194	92,434	104,895	105,677	83,011	101,061	94,199
累計二酸化炭素排出量 (kg - CO2)	83,413	170,786	273,236	369,942	455,087	541,281	633,715	738,610	844,287	927,298	1,028,359	1,122,558
累計実績値 (kg - CO2/kg)	3.56	3.74	3.78	3.75	3.70	3.75	3.71	3.60	3.61	3.63	3.61	3.59
累計達成率 (%)	102	107	108	107	106	107	106	103	103	104	103	102

2. 目標達成手段

手段	21/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
軽油、重油、LPG、電気 の削減計画に基づく	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
効率の良い生産計画	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	計画											
	実績											
署名	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	精錬量の増加に伴い目標値は達成しております。引き続き生産量、生産性を監視していきます。
第2四半期 実績と評価	目標値は達成しておりますが、生産量と二酸化炭素排出量にバラつきも見られます。引き続き監視していきます。
第3四半期 実績と評価	精錬量が増加傾向にあり、二酸化炭素排出量も増加しています。引き続き監視していきます。
第4四半期 実績と評価	目標値を達成する事ができましたが、月毎の精錬量と二酸化炭素の排出量に大きなバラつきが見られます。今後の課題としてできる対策を検討していきます。



7.環境法令と順守評価

凡例 ○：順守している △：要調査 ×：要正 ー：評価対象外

No	業務、作業又は施設など	適用法令・条例・協定等		評価項目（鍵となる要素）	評価結果	順守評価結果 ○△×－
		法令名称	要求事項			2022.5/24
1	産業廃棄物収集運搬業及び処分業	廃棄物処理法	産業収集運搬業及び処分業の許可	□許可証の期限（許可証および一覧表は別紙） □事業範囲の変更（取扱う廃棄物の種類、収集運搬の範囲）	令和6年4月19日 廃プラスチック・金属くず	○ ○
			産業廃棄物収収運搬車表示 （会社名、産業廃棄物収集運搬車、許可番号）	□収収運搬車への表示の確認		○
			収集運搬車への書面備え付け （契約書の写し、マニフェストの携行）	□運用状況の確認		○
			産業廃棄物処理実績報告書	□前年4月～今年3月までの処理実績	処理実績報告書	○
		大気汚染防止法	自動車排ガスの抑制努力義務	□車検の実施		○
		自動車リサイクル法	車検又は廃車時におけるリサイクル料金の支払い	□廃棄した車の有無 □届出、許可業者への委託 □リサイクル料金の支払い有無	今期、廃車にした車はありませんでした。	
2	産業廃棄物焼却炉	廃棄物処理法	施設設置時の許可 （処理能力200kg／時間、火格子面積2㎡以上）	□許可証の有無	平成21年1月21日	○
			施設の変更の許可	□施設の変更の有無	軽微な変更有り（1号機）	○
			施設の維持管理（維持管理計画、技術上の基準）	□廃棄物の受入れ量の計量データの確認 □点検及び機能検査の記録確認（3年間保存） □蚊、ハエ及び害虫が発生しない □廃棄物の飛散、流出、地下浸透及び悪臭の防止	日常点検票にて確認	○
				技術管理者の設置	□技術管理者の有無（証明証は別紙）	平成10年3月27日取得 認定番号044079
		ダイオキシン特別措置法	（1号機/2号機）火床面積0.37㎡（0.5㎡以上に該当しない）、焼却能力50kg／時間	□届出の確認	火床面積0.5㎡以下（0.37㎡）のため対象外	
			大気排出基準 5ng-TEQ/m3	□ダイオキシン年1回の測定	令和4年5月17日測定	○
				□測定結果 1号機	0.00000069ng-TEQ/m3	○
		大気汚染防止法	自主基準 Nox150mg／m3N, Sox0.15mg/m3N/h,ばいじん0.02g／m3N、鉛1.0mg／m3N未満、塩化水素200mg/m3Nの排出基準	□測定結果 2号機	0ng-TEQ/m3	○
				□年2回の測定の実施及び測定結果 1号機	令和4年11月16日測定 ばいじん 0.0038g/m3N未満 Sox 0.0084mg/m3N/h未満 Nox 65PPM 塩化水素 3.6mg/m3N未満 鉛 0.021mg/m3N未満	○
					□年2回の測定の実施及び測定結果 2号機	令和4年11月17日測定 ばいじん 0.0075g/m3N未満 Sox 0.0052mg/m3N/h未満 Nox 56PPM 塩化水素 4.7mg/m3N未満 鉛 0.0083mg/m3N未満



7.環境法令と順守評価

3	Pb,Ni含むはんだの 精錬	PRTR法	対象物質についての入荷量・排出量を把握し届け出る。	入荷量・排出量の申請（TED3 9-1環境パフォーマンスデータにて記録する。）	2022.5/24届出済み	○
4	工場全般の活動	顧客先からの要求事項	・Cdフリー ・環境上の法令の順守 ・棚卸1回実施の要求 ・業務記録の作成（ロット毎）	☐ 分析資料によるCd含有の確認 ☐ 定期的な大気測定 ☐ 棚卸1回実施と報告 ☐ 製造作業票による記録の作成		○
5	産業廃棄物の保管	廃棄物処理法	産業廃棄物保管基準に従う	☐ 周囲に囲い ☐ 掲示板（縦横60cm以上、廃棄物の種類、保管の高さ、保管場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先） ☐ ねずみ、蚊、ハエ及び害虫が発生、生息しない ☐ 廃棄物の飛散、流出、地下浸透及び悪臭の防止 ☐ 保管の高さ ☐ 保管上限は1日の平均的搬出量×14	並木工場加工一部に掲示 安全衛生委員会にて監視と評価 安全衛生委員会にて監視と評価 安全衛生委員会にて監視と評価	○ ○ ○ ○ ○
6	産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	委託契約の締結 マニフェスト伝票の発行及び管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書 処理場への自社運搬	☐ 各委託又は受託に関する委託契約書の有無 ☐ 記載事項 ☐ 処理先の現地確認 ☐ 廃棄物委託に関するマニフェスト伝票の発行 ☐ 90日以内又は180日以内にE票の送付を受けない時は、委託先の調査と都道府県への報告 ☐ マニフェスト不交付における産業廃棄物の引き受けの禁止 ☐ マニフェスト伝票の5年間の保管 ☐ 前年4月～今年3月までの処理実績 ☐ 自社の車両により、車両両側面への表示 ☐ マニフェスト伝票の携行 ☐ 産業廃棄物を飛散させない	有 管理票交付等状況報告書	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



7.環境法令と順守評価

7	はんだの精錬	大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置許可	☐ 設置設備の変更（ばい煙発生施設）	令和4年2月3日に構造等の変更	○
			高周波炉（自主基準） ばいじん0.02g/m ³ N、 鉛1.0mg/m ³ N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和4年11月16日測定 ばいじん 0.00099g/m ³ N未満 鉛 0.0052mg/m ³ N未満	○
			反射炉A（自主基準） Nox150ml/m ³ N、 ばいじん0.02 g/m ³ N、鉛1.0mg/m ³ N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和4年12月14日測定 Nox49PPM ばいじん 0.0010g/m ³ N未満 鉛 0.005mg/m ³ N未満	○
			反射炉B（自主基準） Nox150ml/m ³ N、 ばいじん0.02 g/m ³ N、鉛1.0mg/m ⁴ N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和4年12月14日測定 Nox21PPM ばいじん 0.001g/m ³ N未満 鉛 0.005mg/m ⁴ N未満	○
8	収集運搬トラックの走行	首都圏PM条例	対象者の車へのPM減少装置の取り付け	☐ PM減少装置の取り付け		○
		道路交通法	免許証、スピードなどの違反	☐ 免許証の保持 違反歴		○
9	フォークリフトの使用	オフロード法	適合者の使用	☐ 適合証明		○
			平成18年4月施行前販売のものについては適合（適合マークなし）しなくて良い	☐ 平成18年4月施行前販売証明		○
				☐ 1年前の期間における定期点検の実施		○
10	業務用エアコン（8台7.5kW以下）エアコン圧縮機（3台：75KW）の設置及び使用	フロン排出抑制法	エアコン及びエアー圧縮機全ての冷媒漏えいに関する簡易点検の実施併せて、エアー圧縮機は年1回有資格者による定期点検の実施	☐ 点検を実施したか。各業務用エアコンとコンプレッサー型番4GA30065型番4GA01627型番4GA20750型番4GA31827	安全衛生委員会にて監視と評価	○
			漏えい時の処置（修理）	☐ 漏えいは発生したか。		-
			廃棄時の処置（許可業者による回収と破壊）	☐ エアコンを廃棄したか		-



8. マネジメントレビューの記録

1, インพุット情報(報告者:環境責任者)		2, アウトプットの決定(代表者又は経営層)	
確認項目	状況と評価内容	アウトプットの考察事項	アウトプット事項(今年度の実施に対する評価及び次年度に向けて)
①前回までのレビュー結果に対する処置の状況	前回のレビューから環境委員会にて計画を見直し目標値を再設定し、継続的な運用と記録をしています。	①EMSの継続的な適切性、妥当性及び有効性に関する結論	システムの運用に関して有効性がある。
②EMSに関わる組織内外の課題の変化の状況	TED3 4-1の①、②については大きな変化は御座いません。③在庫管理の向上としてQRコードを導入し本年9月より(棚卸し現品票の廃止、DX化)運用がスタートしました。(次年度は更なる運用を計画します。)	②継続的改善の機会に関係する決定	改善計画を策定し改善をしている。
③順守義務の変化の状況	11月22日内部監査にて事務所エアコンの点検が必要と改善の機会をいただきましたので次年度よりエアコンの点検(フロン排出抑制法)を追加いたします。	③EMSの変更の必要性、それには資金の必要性も含める。	変更の必要性はない。
④組織の新しい環境側面並びに脅威及び機会に関するリスクの変化の状況	現在本社工場のリニューアル工事の最中です。工事が完了しましたら環境側面の抽出及び影響評価を行います。その他変更は御座いません。	④必要な場合、環境目標未達成の処置	未達目標部分の活動を見直し原因を突き止めている。
⑤環境目標の達成度	電気使用量【電気を使用した精錬量の向上/本社工場】が10月時点で93%と未達成の見通しです。その他未達成の見通しは御座いません。	⑤当社の戦略的方向性に対する示唆	QRコードの更なる運用及び環境設備、マニュアルの見直しを進めていく。
⑥不適合及び是正処置、監視及び測定の結果、遵守義務への適合及び監査結果に対する傾向も含む環境パフォーマンス情報	7月の審査11月の内部監査ともに改善の機会をいただきました。是正処置報告書に記載の通りです。環境パフォーマンスについては現在データが10月までとなっております。		
⑦外部利害関係者からのコミュニケーション	TDE3 7-5外部コミュニケーション記録へ記録をしています。		
⑧継続的改善の機会	TED3 4-1の取り組みとして2023年度は、生産性向上、QRコードの更なる運用、管理職会議を予定、計画しております。		
⑨効果的なEMSを維持するために必要な資源の妥当性(十分さ)	効果的なEMSを維持できています。		

